平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	06	01
細事業名	蒲井海岸海流調査事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	蒲田保彦
海業水産課	担当者の氏名
	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	1　安全で多面的に貢献できる漁港・周辺整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	[京丹後市蒲井・旭地域振興計画]に基づき、H20年より2ヶ年にわたり潮流や地形を計測し、蒲井海岸の漂砂の状況を調査する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	砂浜の侵食が懸念され離岸堤の設置要望が地元区からあったことにより、蒲井漁港海岸の潮流調査に必要な海底地形を把握するため深浅測量（延長340m・幅員250m）を行なった。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	2ヶ年間実施した深浅測量の結果から特異な海浜地の砂の移動・変化等は見当たらな

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	1,449		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,449
事業費合計		1,449	合計			1,449

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	H21年度で完了。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	H21年度で完了。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
C	A　現状維持	理由	
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
	A　事業拡大	理由	
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	03	01	01
細事業名	漁港維持管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	担当者の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	1　安全で多面的に貢献できる漁港・周辺整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	漁港設備の維持管理のため小修繕を行い、漁業者が安心安全に利用できる漁港機能を維持する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	漁港管理啓発用看板87千円（2枚） 砂方漁港修繕（他2箇所）562千円、指向灯保守点検（他2件）委託料579千円 重機借上げ料21千円 漁港標識看板（6ヶ所）設置工事945千円
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	649		国庫支出金		
	13	579		府支出金		
	14	21		起債		
	15	945		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		2,194
事業費合計		2,194		合計		2,194

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	漁港機能が維持できた。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	緊急性、経済性を考慮して修繕を行なった。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	維持修繕を実施し、漁港機能を維持するため、緊急性、経済性を考慮して実施する。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	緊急性、経済性を考慮して修繕工事を実施する。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	03	02	01
細事業名	漁港整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	蒲田保彦
海業水産課	担当者の氏名
	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	1　安全で多面的に貢献できる漁港・周辺整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	漁港施設の改良及び維持補修工事を行い、漁業者が安心安全に利用できる漁港施設の機能を維持する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	漁港施設の効率化と維持を図る。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	浜詰漁港・蒲井漁港物揚場改良工事399千円 竹野漁港第1防波堤補修工事1,110千円
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	漁港施設の効率化と維持が図られた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	15	1,509		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金	漁港整備事業	75
				その他		
				一般財源		1,434
事業費合計		1,509	合計			1,509

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：漁港施設の機能の効率化と維持が図られた。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：緊急性、経済性を考慮して工事を行なった。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：緊急性を考慮して漁業者の安全な漁業活動を促進するために必要な整備を行なう。
	事業規模の方向性		
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：緊急性経済性を考慮して、現状機能を維持に努める。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	04	01	01
細事業名	特定地域水産物供給施設整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	担当課長の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	担当者の氏名
	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	1　安全で多面的に貢献できる漁港・周辺整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	間人漁港の整備を行うことにより、漁業活動の安全性の確保、漁港機能の向上や円滑な利用を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	間人漁港における府代行整備事業に対し、事業費の10%を負担金として支出した。 ・防波護岸新設　延長＝152m ・泊地浚渫　　面積＝5,000㎡ ・-3.0岸壁新設・改良　延長＝143m ・西沖防波堤改良
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	54,700		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		54,700
事業費合計		54,700		合計		54,700

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

▲	○　進捗している（できている）	理由	全体計画の進捗率が、目標を下回っている。府による代行事業であるため、今後の事業量増の要望をする。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	整備計画に基づき実施される予定。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

B	A　事業拡大	理由	早期完成に向けて、京都府へ要望する。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	04	02	01
細事業名	地域水産物供給基盤整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	担当課長の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	担当者の氏名
	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	1　安全で多面的に貢献できる漁港・周辺整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	浜詰漁港（夕日泊地）における防波堤の改良及び物揚場の新設を行うことにより、港内の静隠を確保し安全性を高めると共に、施設を効率的に利用する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	浜詰漁港（夕日泊地）整備工事 防波堤　L＝55m 護岸L＝39.9m　物揚場L＝65.1m　泊地浚渫　A＝760㎡　V＝1,120m3 被覆ブロック151個・根固ブロック22個
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	整備事業実施中

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	2	1,449		国庫支出金		
	9	117		府支出金		138,000
	11	906		起債		68,800
	12	12		分担金・負担金		150
	13	400		その他		
	14	1				
	15	204,109				
	27	9		一般財源		53
事業費合計		207,003		合計		207,003

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている）	理由	10ヵ年整備計画に基づき事業実施中
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	10ヵ年整備計画及び事業実施要綱により、事業を実施する。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	10ヵ年整備計画に基づき事業を実施する。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

B	A　事業拡大	理由	10ヵ年整備計画に基づき事業を実施する。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	04	01
細事業名	共同利用施設設置事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	担当課長の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	担当者の氏名
	岡野　勲

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	2　漁業経営基盤の強化
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	水産業生産基盤としての共同利用施設を整備し、効率的かつ安定的な漁業経営基盤の強化を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	漁協等の要望による

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	網野町漁協が浜詰漁港内に新設する砕氷施設に対し、事業に要する経費の3分の1以内の額を補助した。 湊漁協が購入する自動割裁機に対し、事業に要する経費の3分の1以内の額を補助した。 ・砕氷施設　　1式（補助金額：1,133千円）　・自動割裁機　1台（補助金額：850千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	砕氷施設　11月から3月氷使用料　38t 自動割裁機　12月から3月サワラ消費量　2886匹

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	1,983		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,983
事業費合計		1,983	合計			1,983

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	◆砕氷施設……鮮度管理の持続が可能となり、これまでどおりの高鮮度出荷による漁業経営の安定が図られた。 ◆自動割裁機…安価な多獲魚のアジ・サワラ等の地産地消を進めるため、学校給食等の食材として利用促進が図られた。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	京丹後市漁業振興対策事業補助金交付要綱による	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	漁協等の生産基盤の強化のため、事業内容の緊急性、経済性を考慮し、施設整備に係る補助を行う。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	漁協が実施する事業であり、要望により事業内容の緊急性、経済性を考慮して決定する。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	07	01
細事業名	利子補給助成事業					

担当部局	
農林水産環境部	
担当課等	担当課長の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	担当者の氏名
	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	2　漁業経営基盤の強化
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	漁業者の経営安定、基盤強化を目的として、漁業者が借り入れた漁業近代化資金に対し利子補給金を交付する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	災害復旧及び資本整備の高度化、経営の近代化のために資金を借り入れた漁業者及び団体に対し、負担する利子の一部を補給（補助金364,019円）することで、漁業経営の安定を図った。 市内漁協の団体（6件）及び個人漁業者（1件）に対し助成した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	漁業者の経営安定と基盤強化が図られた。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	364		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		364
事業費合計		364	合計			364

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	漁業経営の安定及び基盤強化のために漁業者が必要に応じて借入れた資金の利子補給であり、前年度の要望に基づき	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	漁業経営者が施設・設備へ投資するとなれば、多額の資金が必要となるため、少しでも財政負担を軽減することができた。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持	理由	漁業者の経営安定及び基盤強化のために行う借入れに対する利子補給は水産振興を図るうえで必要なことから今後も支援を継続する。	
	B　内容の見直し			
	C　統廃合・休止・終了			
事業規模の方向性				
B	A　事業拡大	理由	漁業者の経営安定及び基盤強化のために行う借入れに対する利子補給であり、必要に応じて実施する。	
	B　現状維持			
	C　事業縮小			

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	02	01
細事業名	漁業振興支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	担当者の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	岡野　勲

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	3　つくり育てる漁業の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	つくり育てる「栽培漁業」を推進し、資源の増殖、漁業経営の安定と環境維持を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	漁獲高 サザエ：60ﾄﾝ、アワビ：3ﾄﾝ、ヒラメ：2ﾄﾝ

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	丹後町漁協、網野町漁協、湊漁協が実施する資源管理・栽培漁業推進事業に種苗費の1／2の補助を行なった。また、湊魚漁協が実施するヒラメの中間育成事業の経費の2／3の補助を行なった。 種苗放流：サザエ・アワビ：77千個、クロダイ：20千尾、クルマエビ：130千尾、ハマグリ：40千個 ヒラメ中間育成放流：20千尾
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	漁獲高 サザエ：60.2ﾄﾝ、アワビ：2.5ﾄﾝ、ヒラメ：0.9ﾄﾝ

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	1,553		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,553
事業費合計		1,553		合計		1,553

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	継続的に実施する種苗放流や生残率を高める中間育成の活動を支援することで、漁業資源の維持・増大が図られ、漁家経営の安定に寄与した。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	京丹後市漁業振興対策事業補助金交付要綱に基づき、漁協が実施する種苗放流事業の経費の内、種苗費対して補助を行なうもの。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	継続的に種苗放流や生残率を高める中間育成に取組みながら、漁業経営の安定を図る支援を継続する。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	安定的な資源の確保のため、過去の実績を考慮した放流数量とする。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	05	01
細事業名	アワビ養殖事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	担当課長の氏名
海業水産課	蒲田保彦
	担当者の氏名
	岡野　勲

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	3　つくり育てる漁業の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	蒲井旭地域の振興を図るため、H19年度よりクロアワビの陸上養殖について、試験養殖を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	クロアワビ陸上養殖生産量：　80mmｻｲｽﾞ　20,000個

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	クロアワビの陸上試験養殖を今回3回目を実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	クロアワビ試験養殖生産量（2回目試験養殖分）：1,740個

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	9	0	国庫支出金		
	11	1,141	府支出金		
	12	63	起債		
	14	422	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,626
事業費合計		1,626	合計		1,626

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	平成20年度種苗の試験養殖結果は、ほぼ計画どおりの結果となった。しかし、販売単価や販路拡大など課題の改善を要する。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	試験養殖に必要な経費を支出した。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	引き続き養殖環境の把握、養殖技術の習得、販路開拓など自立した養殖経営を目指した取組みを行なう。
	事業規模の方向性			
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	平成23年度に本施設整備を計画しているが、これまでの試験結果を踏まえ方向性を決定する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	01	01
細事業名	内水面漁業振興支援事業					

担当部局	担当課等	担当課長の氏名	担当者の氏名
農林水産環境部	海業水産課	蒲田保彦	下戸隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	6　自然と調和した内水面漁業の推進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	河川での栽培漁業を推進し、資源の増殖、漁協経営の安定と河川環境の保全を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	資源の安定的な増殖と遊魚事業を継続する。 入漁者数： 有漁証の発行数　有漁証の発行数　年券170・日券10

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	上宇川漁業協同組合、野間漁業協同組合、京都府漁業協同組合網野支所が実施する河川種苗放流事業に対し、種苗費の1／2以内の補助を行なった。 宇川：あゆ21千尾・うなぎ0.8千尾を放流 野間川：あゆ45千尾・うなぎ3千尾・ます類5千尾を放流 はなれ湖：うなぎ1千尾・ふな3千尾を放流
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	有漁証の発行数　年券167・日券10

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	1,184		国庫支出金		
				府支出金	内水面漁業振興対策	440
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		744
事業費合計		1,184	合計			1,184

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	継続して種苗放流を実施することにより、資源の増殖と漁家経営の安定が図られた。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	京丹後市漁業振興対策事業補助金交付要綱に基づき、漁協が実施する種苗放流事業の経費の内、種苗費対して補助を行なうもの。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	継続的に種苗放流事業を実施し、資源の増殖と漁業経営の安定を図るため、放流事業を継続する。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	安定的な資源の確保のため、過去の実績を考慮した放流数量とする。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
4-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	03	02	03	01
細事業名	海業推進事業					

担当部局	担当課長の氏名
農林水産環境部	
担当課等	蒲田保彦
海業水産課	担当者の氏名
	下戸　隆男

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅰ　交流経済都市
	計画項目　（施策）	③　漁業・海業の振興
	施策方針	7「海業」の推進
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	漁協の婦人による小学生を対象にした魚料理教室などの魚食普及活動や水産イベントを実施し、魚に親しむ環境づくりを行なうと共に、漁協が行なう豊かな地元水産物の普及活動の支援を行ない、地元水産物の消費拡大を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	小学生を対象とした魚食普及活動（魚料理教室） 久美浜カキ魚まつり　久美浜町湊宮　平成21年12月6日開催。 ふるさと海づくり大会　（今年度は京丹後市丹後町間人で開催）　平成21年8月9日開催　（運営補助金200千円） 京丹後サワラ地産地消をすすすめる活動　（会の運営補助金　600千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	学校・保育所給食の地産地消　サワラ　3.,2ﾄﾝ・その他の魚　0.7トン 久美浜カキ魚まつり　7，000人参加、ふるさと海づくり大会　3，000人参加 小学生を対象とした魚料理教室　参加9校延158人

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	10		国庫支出金		
	11	240		府支出金		
	13	22		起債		
	19	800		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,072
事業費合計		1,072		合計		1,072

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	豊かな海、海岸、漁港の魅力溢れる資源を生かし、各種イベントの実施は漁業振興、漁村地域の活性化に寄与した。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	市の支援は実施経費の一部を負担する程度であり、経費削減の余地はなかった。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
B	A　現状維持	理由	「京丹後サワラ地産地消をすすすめる会」の運営補助は、事業関係者との連絡調整に重点を置き、漁業関係者等が自主的に取組む事業として事業内容の見直しを行う。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
C	A　事業拡大	理由	「京丹後サワラ地産地消をすすすめる会」の活動の多様化及び拡大が見込まれるが、市は事業関係者との連絡調整に重点を置き、漁業関係者等が自主的に取組む事業として事業規模の縮減を図る。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		